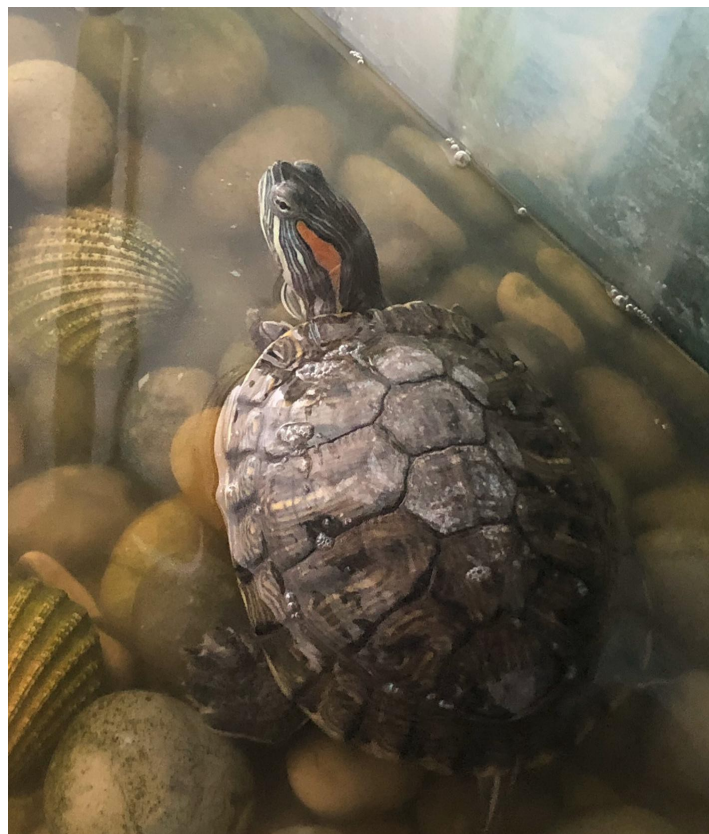


## 「外出制限の良さ」

マクロン大統領が 外出制限を発表してからもう五週間がたちました (L16)。周りの友達はみんな家から出た  
がと思いますが、私は何の不慣れも感じません (L21)。なぜなら、もう RER に乗る必要がなくなったからであります  
(L20)。十年間ずっと人混みの中で押し合っていたのですが、やっと一休みができます (L18)。それに、RER の中で過  
すはずだった時間を今、別のことに使えます (L22)。例えば本を読んだり、アニメを見たり、勉強したりすることができます  
(L19)。もう一つの理由は 外出制限が始まってから、両親は毎日 食事を準備してくれますから、ちゃんと一日三食を  
食べているからであります (L24)。一か月前、昼ご飯をスキップしても、母は知ることができませんでしたから、大丈夫でし  
たが、今はいつも一緒にいますから、食べないといけません (L25 + L21)。食事の時、両親はいつも「もっと食べなさい」  
と言ってくれますが、私は多く食べられませんから、「もうお腹いっぱいだよ」って返します (L21)。そのせいで、母が「君が  
食べないと、私が食べなければならないから、少し肥った」っていつも冗談交じりの文句を言ってくれます (L23 + L17)。  
母にはかわいそうだと思いますが、私は少し痩せたことに気づきました (笑)。外出制限のおかげでもっとゆっくりかつ  
健康的な生き方を過ごせて、溜まっていたストレスが 体重を持って行ったかもしれません。外出制限は私達の 忙し  
ぎた生活に時間を作ってくれたとも言えます。



私の 亀 みたいに毎日のんびりと過ごせたいです p(Ò ^ Ó)q